



2026年度 年主題「しゅイエスとともに」

「過ぎゆく夏に感謝をこめて」

園長 宇津木 純子

夏休みが明けて、元気な声や笑顔が戻ってきました。この夏のイベントや、海やプールでの水遊びや虫とりなどを満喫した子どもたち、ご家族で過ごした楽しい思い出もたくさん出来て、次から次に話してくれる様子にしあわせのおすそ分けをいただいた気分になります。また、日焼けした肌や、背が伸びた子どもたちに、この夏の成長を感じてとてもうれしく思います。まだまだ厳しい暑さが続きそうですが、朝晩、吹く風には、秋の気配が感じられるようになってきましたし、たくさん楽しんだ大きなプールも来週には片付けます。季節の移り変わりを感じながら、9月から、楽しい行事も予定されていますので、子どもたちと一緒に、ワクワクしながら計画し、準備を進めていきたいと思います。2026年8月も、子どもたちも、わたしたちも、神さまに愛されていることを感じ、平和な空間の中で、落ち着いて過ごせる幸せに感謝しながら、これからの毎日1日1日を大切に過ごせますように、祈りつつ共に歩みましょう。

< 8月聖句 >

詩篇 37 : 37

「 平和な人には未来がある。 」

関岡 登季弥 先生

皆さんは、大好きな人に抱きしめられたとき、どんな気持ちになるのでしょうか？「あたたかい」「安心する」「もう何もいらない」そんな満たされた思いになるのではないのでしょうか。実は、そんな満たされた気持ち、それを聖書では「平和（シャローム）」とそう呼んでいます。この様に、平和とは単に争いがない状態ではありません。不安やストレスでバラバラになりそうだった心がやすらぎの内にぎゅっとまとめられていく。満たされていく。これが、「平和」の本当の意味なのです。そんな平和をもたらすために、神様は、この世界に生きる一人ひとりをいつも抱きしめていてくださいます。いつも愛していてくださいます。それが、私たちが生きるこの世界の本当の姿なのです。そして、そんな神様に愛され、抱きしめられて、心も体もいっぱい満たされて、私たちはお互いに愛し合っていくのです。そうです。こどもたちは、家族や先生たちにギュッと抱きしめてもらいます。また、ご家族の皆さんや先生たちもまた、この平和を味わうために、お互いに、あるいは、ときに、こどもたちにギュッと抱きしめてもらいます。そうやって、皆で心満たされて、笑顔になっていく。今月はそんな歩みをこそ目指していきましょう。

